

令和4年10月25日 教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報告）

ア 令和5年度浜松市奨学生の選考結果について

※教育総務課就学支援担当課長から資料に基づき説明

質疑応答なし

イ 令和5年度採用浜松市立小中学校教員採用選考試験の結果について

※教職員課採用管理担当課長から資料に基づき説明

（安田委員）昨年より実質倍率が0.1ポイント上がったということだが、ここ数年の教職員課の様々な取組の成果だと思う。教職員志願者数が減少傾向のなか、実質倍率が上昇したことは評価して良いのではないか。静岡県や静岡市はどのような状況か。

（採用管理担当課長）静岡県の実質倍率は、若干下がっていると聞いている。

（田中委員）大学からの推薦により応募した人数は何名か。

（採用管理担当課長）91大学へ推薦を依頼し、41大学から57人の推薦をいただいた。

（田中委員）優秀な教員を採用できたということは大変心強いことである。

（神谷委員）浜松市で教員となることのメリット、他の市町と差別化できる点はあるか。例えば働きやすさなど、学生にPRすることができるか。

（採用管理担当課長）他市町と待遇面で大きな差はないが、浜松市は校務アシスタントや図書館補助員の全校配置等、各種支援員・補助員の配置が充実していると考えている。

（教職員課長）受験者に対して丁寧な説明を重ね、浜松市の教育について理解していただいたうえで、最終的に採用となるよう取り組んでいる。

（神谷委員）一般企業では、就職活動時に3年以内の退職率や平均年齢、勤続年数等を問われることが多い。退職者が少ないことは、良い会社の指標の一つと言える。採用者に継続して勤務してもらうことも大切であることから、「退職者が少ない」という特徴があるなら、PRポイントとしても良いのではないか。

（鈴木委員）ここ5年ぐらいの志願者や採用者のレベルは上がっているのか、それとも下

がっているのか。また、大学から推薦を受けた者と一般志願者とのレベルに違いはあるか。

(採用管理担当課長) 志願者や採用者のレベルについて、一概には言えないが、教科の差はあるものの、やや下がっているように感じる。また、大学推薦を受けた者が全員合格となったわけではなく、一般受験者でもこちらが求める基準を満たして合格している者もいるため、個人差があり一様には比較できない。今後は、浜松市が必要とする人材について大学と共通理解を図り、求める人材を推薦してもらえよう努めていきたい。

(黒柳委員) 不合格となった志願者が継続して採用選考試験にチャレンジできる仕組みや、講師や任期付雇用などにつながるような支援はあるか。

(採用管理担当課長) 不合格となった方も任期付での合格としたり、臨時的任用で講師として勤めていただいたりすることもある。実際に学校で勤めて力をつけたうえで再度採用選考試験にチャレンジしてほしいと考えている。

(教職員課) 不合格となった方から採用試験の結果について開示請求があった際には、今後伸ばしてほしい点など丁寧に説明している。任期付きや臨時的任用として現職となって学校に勤務する方もいるため、教員の質を高めるうえでも課題をもって取り組んでいただき、浜松市の教員になりたいという気持ちを新たにしてもらいたいと考えている。

(田中委員) 今年度の中学校の発達支援推進教員は、合格者がいないということか。

(採用管理担当課長) 発達支援学級数が増えている中、採用していきたい考えはあるが、発達支援推進教員として求める基準に達していないという判断から不合格としたことによるものである。今後、大学での説明会やガイダンス等の場でどのような資質・能力を求めるといった点について丁寧に説明し、必要な力を育てていただきたいと考えている。

ウ 博物館の事業について

※文化財課長から資料に基づき説明

(黒柳委員) 社会科自由研究優秀作品展については、小中学校にどのように周知されているか。

(文化財課長) 作品募集時にはすべての小中学校に周知しているが、受賞者作品が博物館に展示されていることについては、応募者のみにお知らせしている。

(黒柳委員) 夏休みの課題の参考にしたい保護者や児童生徒もいるため、広く周知していただけたらと思う。

(文化財課長) 今後はすべての小中学校に対し受賞作品展についても周知していきたい。

(田中委員) 中央図書館にも自由研究の展示があったように思うが、別の教科になるのか。

(中央図書館長) 中央図書館に展示されているのは「調べ学習コンクール」の受賞作品であり別のコンクールのものである。

(田中委員) 中央図書館に展示されている作品を手に取っている親子をよく見かける。博物館で展示されている自由研究優秀作品も、中央図書館で展示してはどうか。

(文化財課長) 中央図書館と相談し、社会科自由研究について周知する機会を増やす取組を考えていきたい。

(神谷委員) 博物館は、浜松城や美術館、図書館から少し離れた場所にあり、アクセスしにくいように感じる。観光地から次の観光地へとつながるような工夫などはあるか。

(文化財課長) 博物館は、隣の蜷塚遺跡を紹介する施設を兼ねていることから、立地の変更は難しいが、来年度は大河ドラマの影響で市外からの観光客が多く見込まれることから、できるだけ多くの観光客を呼び込みたいと考えている。浜松駅や浜松城などの集客が見込まれる場所から博物館へとつながる案内方法について、今後検討していきたい。